

会社紹介

すべては変革のために

b-en-g

Business Engineering Corporation

2021年 6月26日

ビジネスエンジニアリング株式会社

東証1部 (4828)

- **会社名** : **ビジネスエンジニアリング株式会社**
略称 **b-en-g (ビーエンジ)**
- **本社** : **東京都千代田区大手町1-8-1**
- **事業内容** : **システムインテグレーション + ライセンス販売**
- **顧客業種** : **80%超が製造業向け**
- **株式公開** : **東証1部 (4828)**

- **売上高** : **178億5千5百万 (2021年3月期)**
- **営業利益** : **20億3千2百万 (//)**
- **従業員数** : **643名(連結) (//)**
- **事業所** : **関西支店(大阪)、中部営業所(名古屋)**
- **子会社** : **国内1社 (ビジネスシステムサービス(株) ※運用保守・開発)**
海外現地法人5社

B-EN-G の歩み

★ 東洋エンジニアリング(株) 産業システム事業本部新設	1987
★ ERP ビジネスを開始 (日本初の SAP パートナー)	1991
国内第一号 SAP ユーザーへの導入を支援	1993
日本企業の海外拠点への ERP 導入を実施	1995
★ 自社開発パッケージ「MCFrame」を提供開始	1996
★ 東洋ビジネスエンジニアリング(株) 開業	1999
日本証券業協会に株式を店頭登録 (現JASDAQ スタンダード)	2001
東洋ビジネスシステムサービス(株)(現ビジネスシステムサービス(株))設立	2003
上海駐在員事務所開設 (現在は現地法人として営業)	2004
東京に本社を開設	2005
★ 海外拠点会計パッケージ「A.S.I.A.」(現 mcframe GA)を提供開始 タイ現地法人が営業開始	2007
「MCFrame XA」シリーズを提供開始	2009
中国上海市に現地法人を設立	2010
東京証券取引所市場第二部に上場	2013
★ 東京証券取引所市場第一部銘柄に指定	2014
インドネシア、シンガポールの現地法人が営業開始	2015
「mcframe7」を提供開始	2017
米国に現地法人を設立	
社名を「ビジネスエンジニアリング株式会社」に変更	2019

日本の製造業を支えてきた底力があります

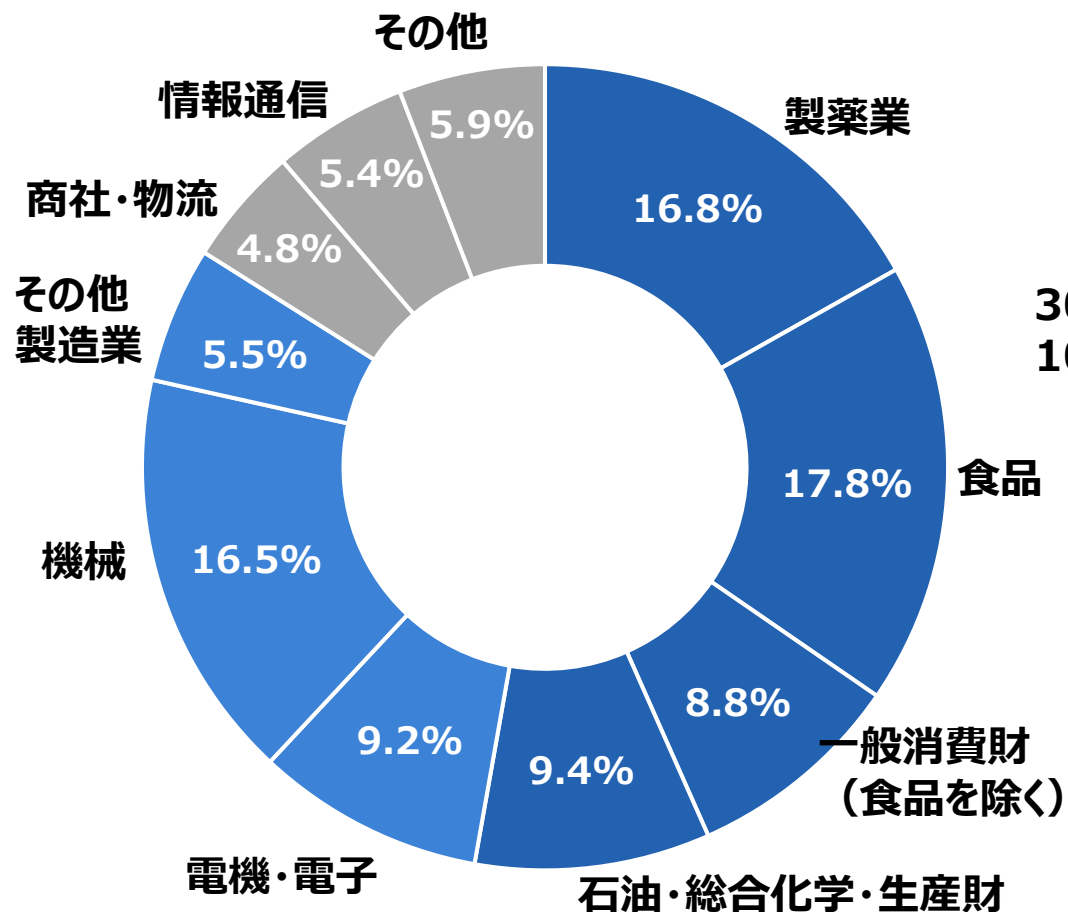
30年にわたる
製造業向けシステム構築の実績

20年以上前の黎明期から
日本のERPをリード

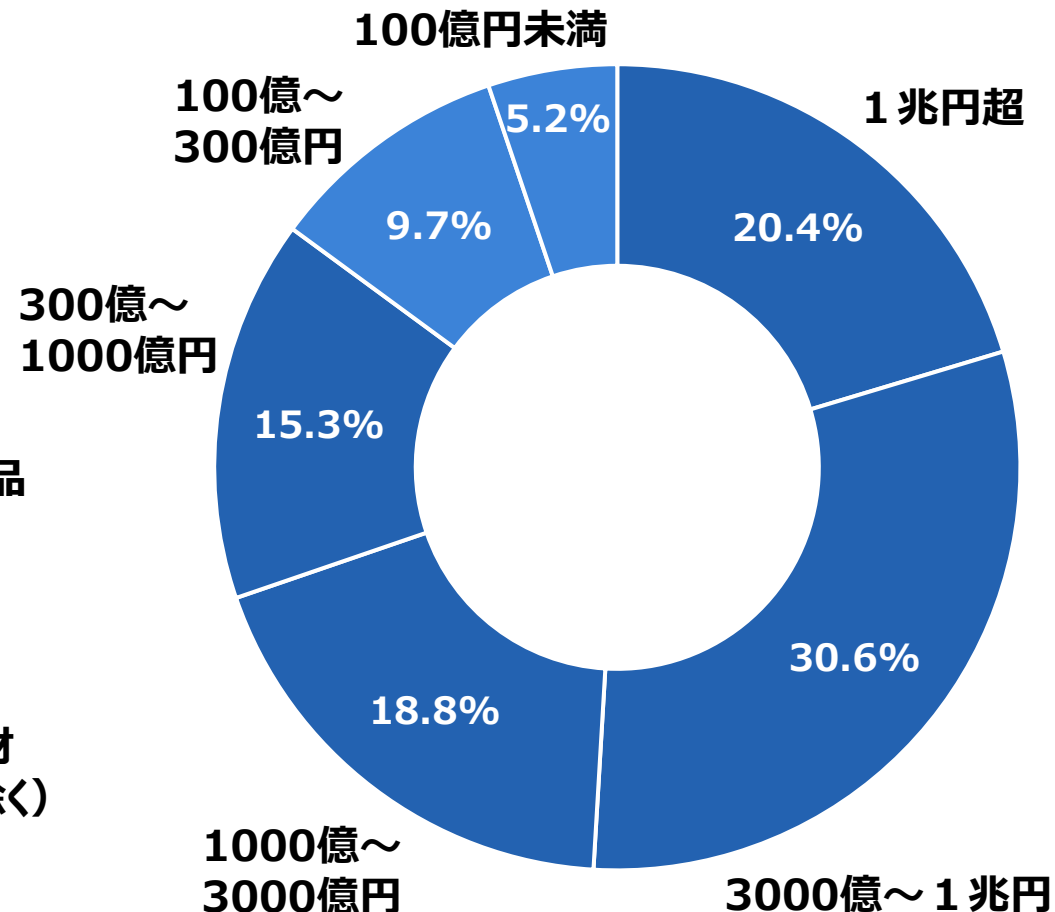
90年代から
日本企業のグローバル展開を支援

常に先進技術を取り込み、
グローバルSCM、Cloud、IoT 等
新たなソリューションを提供

業種別売上構成 (2018~2020年度)

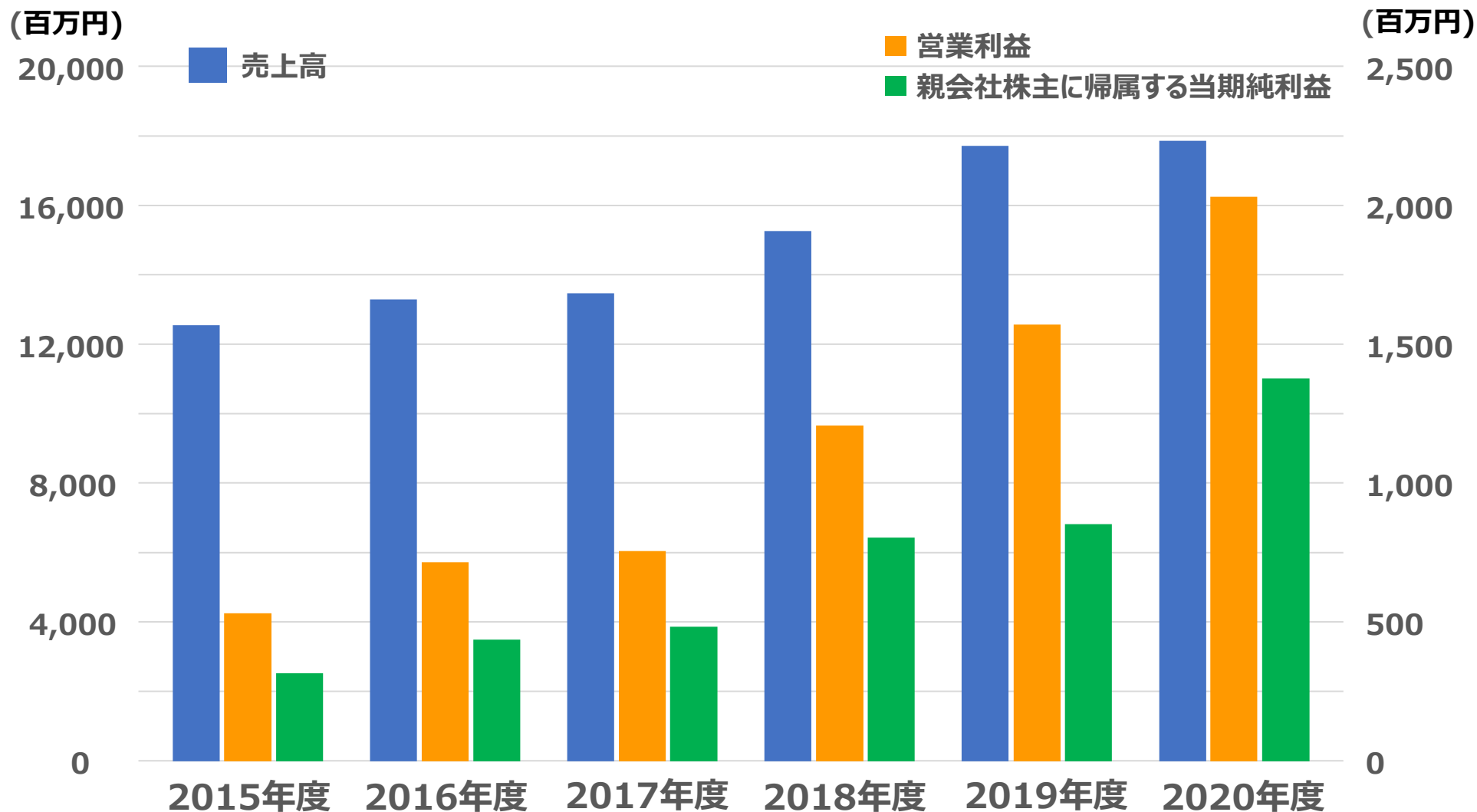


規模別売上構成 (2018~2020年度)

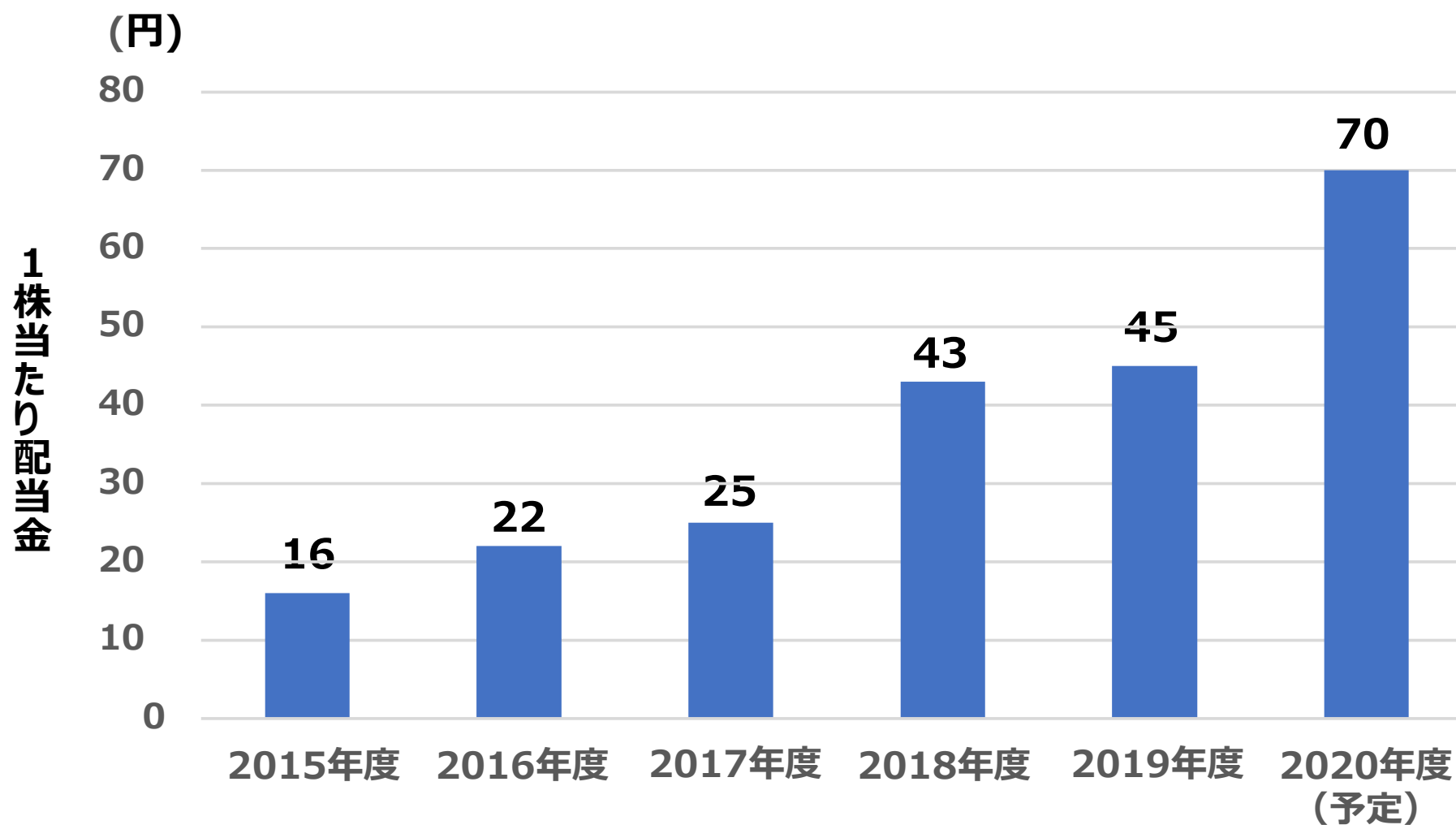


製造業向け売上が **84%**
(サプライチェーン業種で88%)

売上高：3期連続、利益：5期連続 過去最高を更新



配当予定 1株あたり年間70円 6期連続増配



3つの事業セグメント

ソリューション事業

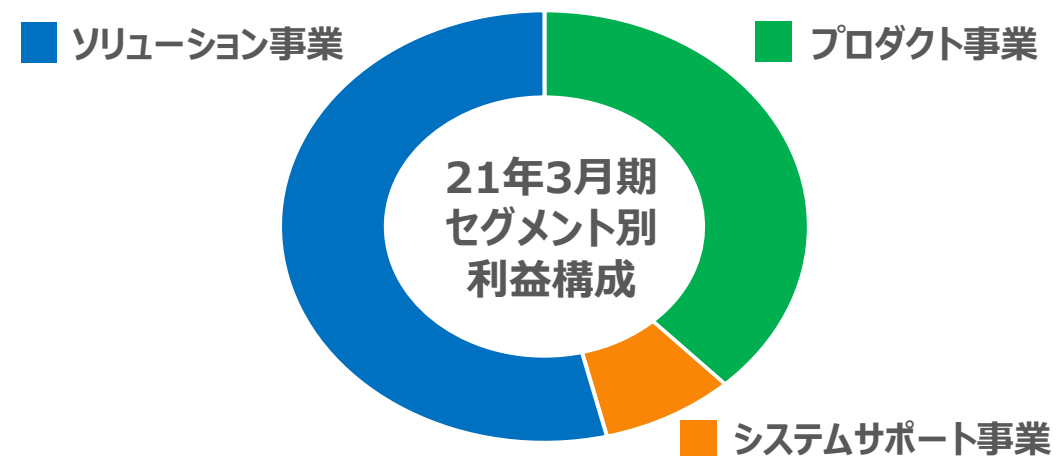
独SAP社を始めとする他社製の
パッケージ製品をベースとしたSI

プロダクト事業

自社製品 mcframe の
ライセンス販売およびSI

システムサポート事業

運用・保守サービス／システム開発



環境変化 × B-EN-Gの強み = 成長戦略

製造業のビジネス環境の変化に対し、
B-EN-Gの強みを活かした製品・サービスで製造業を支援

<環境の変化>

デジタル・
トランスフォーメーション

製造業の
ビジネスモデル変革

グローバル化

<B-EN-Gの強みとリソース>

製造業のIT支援実績

自社プロダクト
製品企画・開発力

顧客との信頼関係

グローバル展開の実績

<3つの柱>

①
「ものづくり
デジタルイノベーション」
の深化

②
「変革のためのDX」
への進化

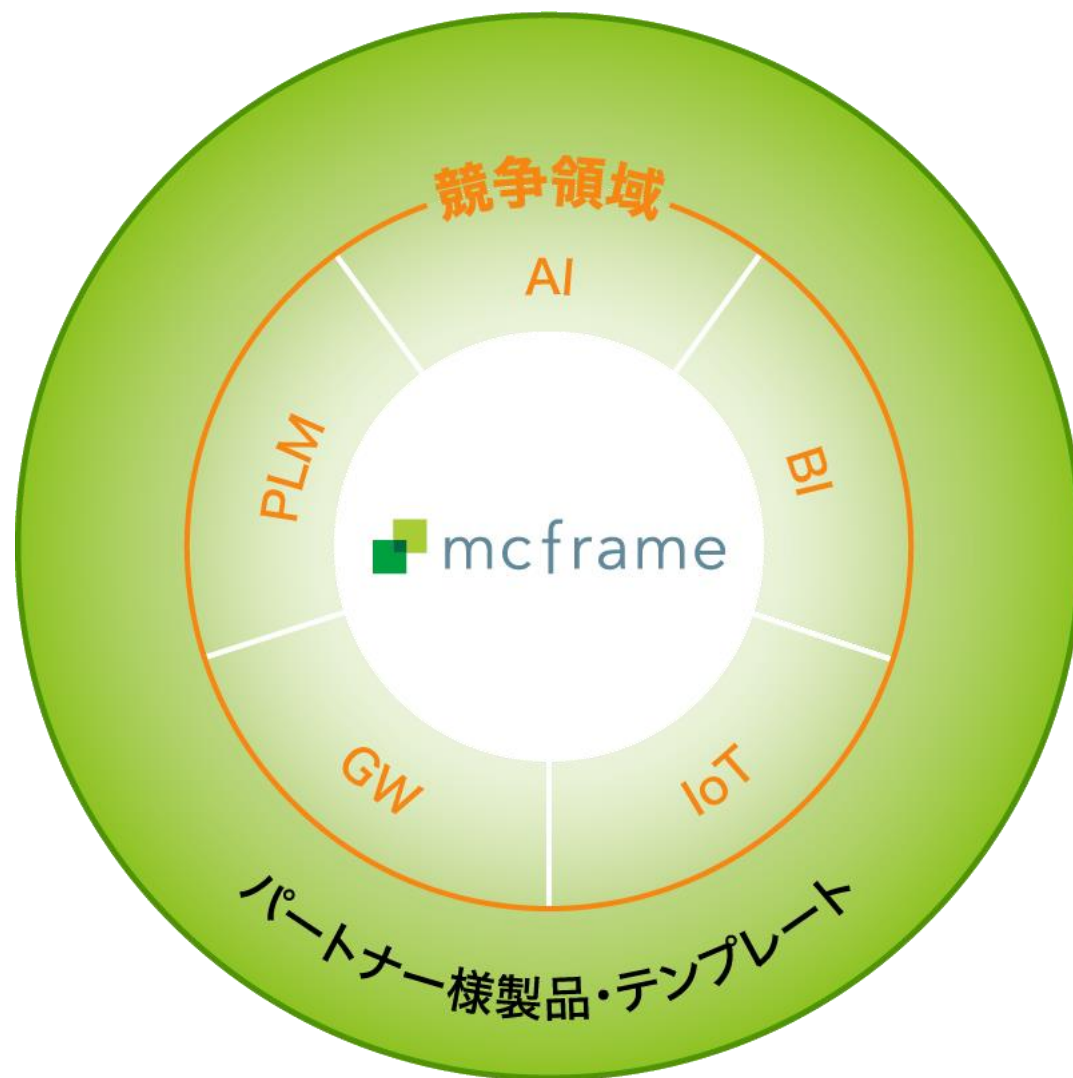
③
グローバル支援の拡大

① 「ものづくりデジタルイノベーション」の深化

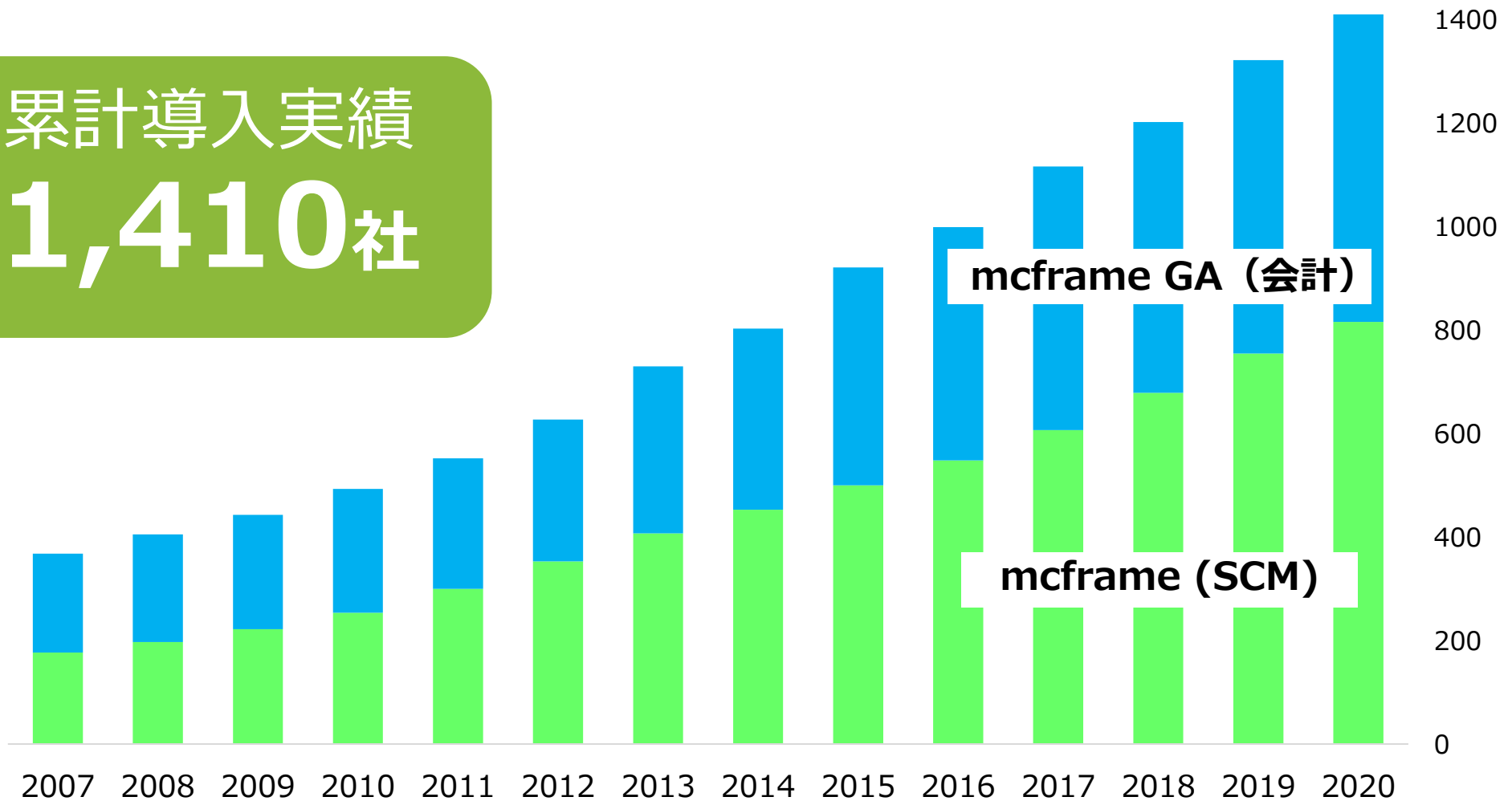
顧客が新しい価値を創造するための
段階的な進化を支援する



共創による価値創出を実現するプラットフォームの提供



累計導入実績
1,410社



● 累計実績は2019年度より88社増えて**1,400社**を突破

② 「変革のためのDX」への進化

顧客のビジネスモデル変革を支援するとともに、新しい形のビジネス創出により
自社のビジネス変革を図る

ユーザー共創型
ビジネスの推進

ユーザー共創型ビジネスの例

ユーザー企業の製品(製造ライン)に、mcframe SIGNAL CHAIN
の稼働管理機能をバンドルし、新しいサービスとして販売する。



mcframe
SIGNAL CHAIN

川口スプリング製作所様の自動塗装設備ラインに当社IoT製品を組み込んで提供



報道関係各位

2021年5月26日

株式会社川口スプリング製作所
ビジネスエンジニアリング株式会社

**川口スプリング製作所、「mcfame SIGNAL CHAIN」を組み込んだ
自動塗装設備ラインを提供し、製造メーカーの品質歩留まりを向上
ユーザーとITベンダーの垣根を超えた「共創ビジネス」モデルでビジネス変革を狙う**

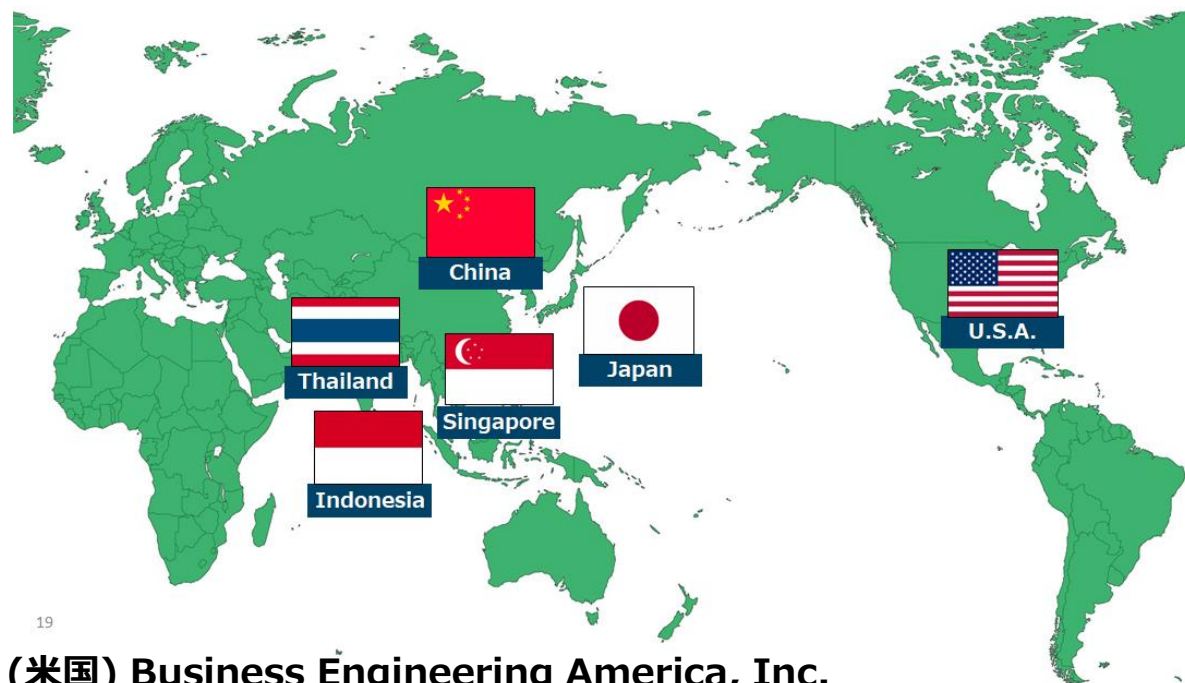
株式会社川口スプリング製作所（埼玉県川口市、代表取締役社長：鬼塚 博幸、以下「川口スプリング」）とビジネスエンジニアリング株式会社（東京都千代田区、取締役社長：羽田 雅一、以下「B-EN-G」）は、「mcfame SIGNAL CHAIN」（以下SIGNAL CHAIN）を組み込んだ塗装自動設備ライン「Kawaguchi Spring Manufacturing Internet of Coating System」（以下KS-MICS）を2021年6月1日より販売開始することを発表します。両社の取り組みはユーザーとITベンダーの垣根を超えた「共創ビジネス」モデルであり、最終的には納入先のデジタル・トランスフォーメーション(DX)にも寄与するものです。

③ グローバル支援の拡大

日系製造業のグローバル展開を継続的に強化し、ビジネス拡大を図る

現海外拠点の
サービス・体制の拡充

中国・アジア圏での
サービス提供の強化



19

(米国) Business Engineering America, Inc.
(中国) 畢恩吉商務信息系統工程(上海)有限公司
(タイ) Toyo Business Engineering (Thailand) Co., Ltd.
(インドネシア) PT. Toyo Business Engineering Indonesia
(シンガポール) Toyo Business Engineering Singapore Pte. Ltd.

25の国と地域 600社への導入実績

規模問わず、様々なお客様のグローバル拠点で活用この2年間で100社超の企業に採用

【ヨーロッパ】



【アジア】



【オセアニア】

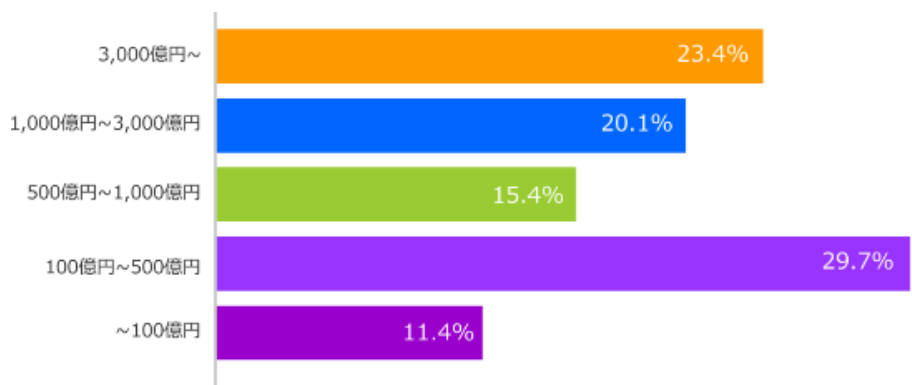


【北アメリカ】



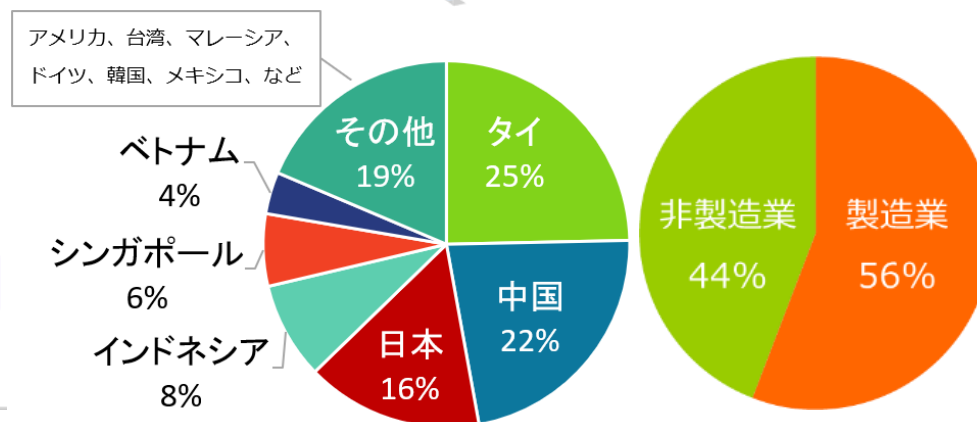
■ 本同年商別の導入実績

海外拠点向けの現実的なソリューションとして、幅広いレンジの年商規模の企業で採用



■ 本事業種別の導入実績

海外展開が進む製造業と卸売業で多くの導入実績



ビジネスエンジニアリング株式会社

東証 1 部 (4 8 2 8)

すべては変革のために

b-en-g

Business Engineering Corporation

<注意事項>

当資料は社外秘であり、許可なく転載・複製・再配布を禁止します。

業績予想、見通し及び事業計画についての記述は、

現時点の将来の経済環境等の予想に基づいています。

当資料において当社の詳細の業績を保証するものではありません。